

新校舎はここが違う

玄関、中央棟

校舎の顔となる建物中央は、曲げわっぱになぞらえた柔らかな円、堅穴式住居の柱をイメージした鋭角な三角形とのバランスで、古典



内履きのまま外での運動ができる中庭

(両側が普通教室、奥が体育館) オープンスペースの普通教室(手前がワークルーム)

的な木造美と大断面集成材の持つ力強さを融合させたものとし、また、吹き抜けのホールには、天窗から光が降り注ぎ、児童にとって楽しい空間になりました。

また、大断面集成材の利用を念頭に、従来の柱間一・八メートルにとらわれず、木造の可能性、面白さを追求しました。

普通教室棟

日照、風通しの良さを考えた平屋建て二棟からなり、教室はオープンスペースで、ワークルームがついています。また、二棟間に挟まれた中庭には再生ゴムを利用した透水性の舗装が施され、内履きのままで二棟間の往復や運動などができます。

特別教室・管理部門棟

今までの学校にはなかったPTA会室や教育相談室を設けました。

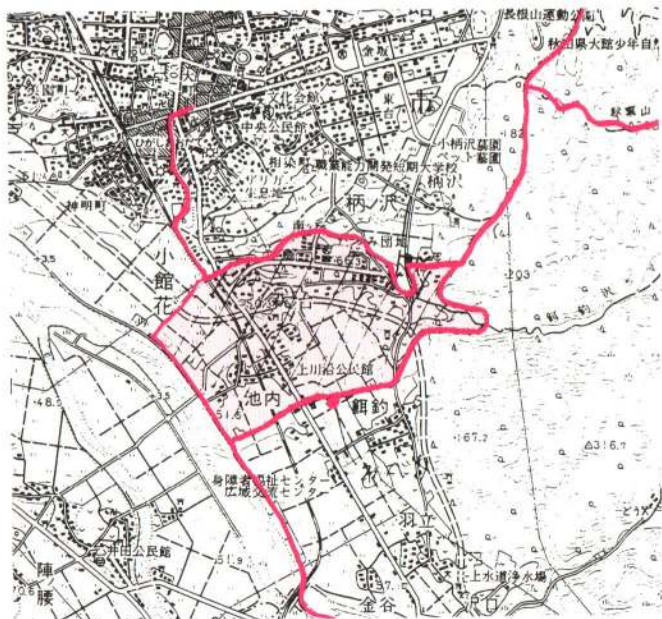
屋内体育館

体育館は、中庭、普通教室棟への西風をブロックするように配置されており、回廊式に普通教室棟と結ばれています。内部にも木がふんだんに使われており、木の温もりを感じる体育館となっています。

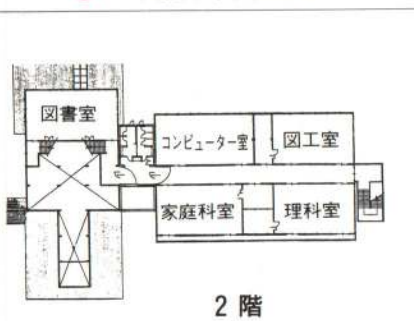
省エネルギー、環境対策

高断熱構造のうえ、窓からの熱損失を最小限に抑えるため、ペアガラス断熱サッシを採用しました。熱源には危険が少ない電気(深夜電力)を使用するとともに、ク

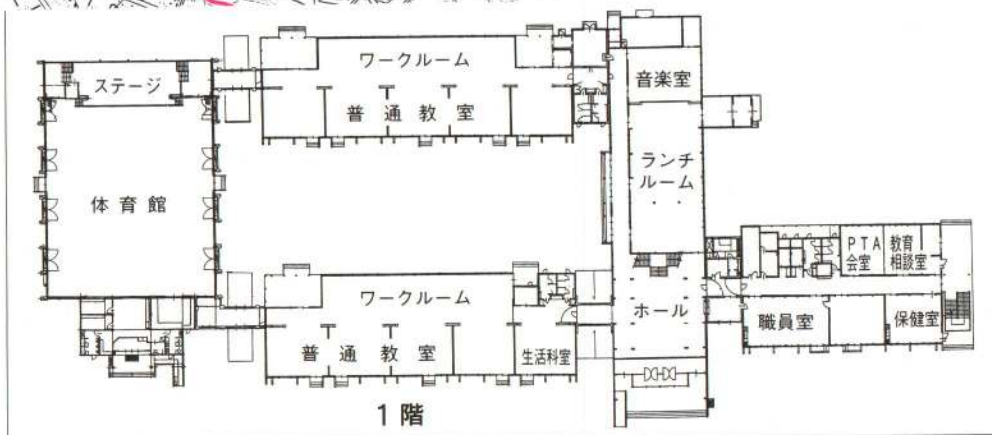
リーンで快適な輻射暖房にしました。また、中央棟及び管理部門棟の一部は床暖房を採用しました。さらに、職員室などは熱源を分け、冬休みや休日には省エネルギーを図れるようにしました。



◀ 図1・上川沿小学校の再編後の学区
 □ 部分城南小学校から新しく上川沿小学校の学区に編入される地域
 ● が上川沿小学校建設地



2階



▶ 図2・上川沿小学校の平面図